

台場シャトルバスの運行状況について

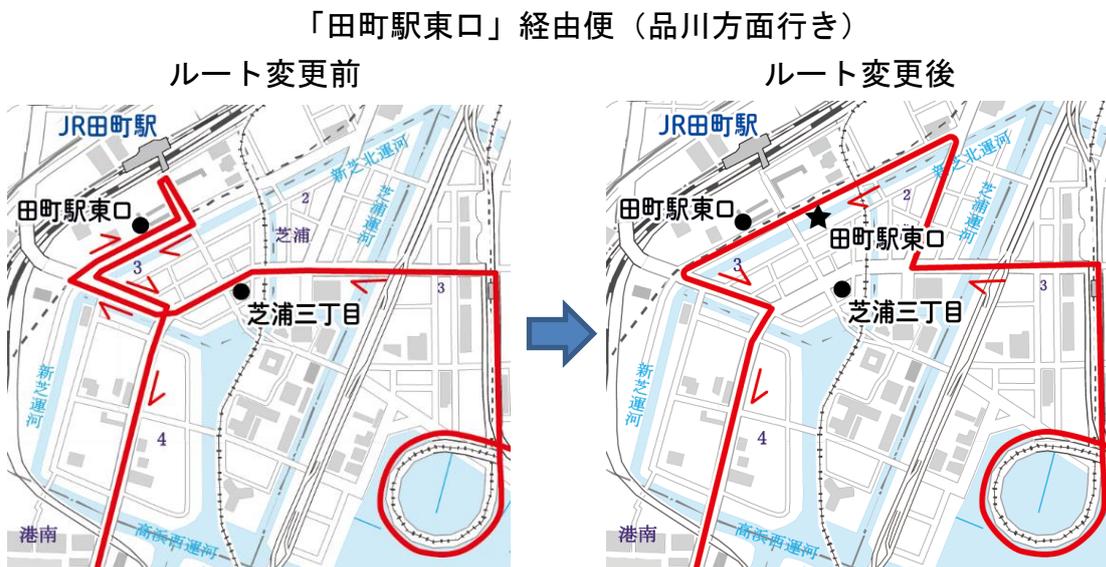
台場シャトルバスは、平成29年4月から5年以内の黒字化達成を目指して、運行事業者が運営しています。

区は、平成29年度から令和3年度までの5年間で、1億円を上限に、運行経費と運行収入の差額について補助しています。

1 平成30年度の運行改善について

(1) 品川方面「田町駅東口」バス停の新設とルート変更（平成30年11月1日変更）

「田町駅東口」バス停は、台場方面行きと品川方面行きを共用していましたが、反対車線側に都バスのバス停との共用で品川方面行きのバス停を新設し、両方向にバス停を分離しました。品川方面行きのルートを、右左折の回数を減らすことで渋滞のリスクを軽減し、走行距離短縮により所要時間を5分短縮し、速達性と定時制を確保しました。



※「芝浦三丁目」バス停は「芝浦三丁目」経由便が引続き使用します。

(2) ダイヤ改定（平成30年11月1日改定）

より一層の利便性の向上を図るため、以下のとおりダイヤ改定を実施しました。
なお、実施にあたっては乗務の効率化を図り、人件費等の経費を増加させずに
行いました。

ア 平日は、始発前と終発後に1便ずつ増発しました。「お台場学園前」発の
始発時間を7時5分から6時45分に早め、「品川駅港南口」発の終発時間
を22時5分から22時30分に遅くしました。

イ 平日のラッシュ時（午前8時台）に1便増便しました。

ウ 「田町駅東口」と「芝浦三丁目（田町駅入口）」の経由便数の振分けを変更
しました。「田町駅東口」経由便は、利用者の少ない時間帯は、45分間隔
から1時間間隔とし、所要時間の短い「芝浦三丁目（田町駅入口）」経由便
の割合を増やし、品川駅と台場地域との速達性を高めました。一方、利用者
の多い土休日の夕方等の時間帯は30分間隔を増やし、田町駅利用者への利
便性を高めました。

エ ダイヤの調整を行い、午前中は品川駅港南口からの、午後は台場地区各停
留所からの出発時刻を、毎時ほぼ同じ「分」として、利用者に分かりやすく
利用しやすいパターンダイヤとしました。

2 運賃改定について（令和元年10月1日改定）

令和元年10月1日より、大人運賃220円に、小人運賃110円に改定しました。

なお、運賃の改定に合わせ、利用者サービス向上のため、未就学児の無賃運送を
見直し、無賃として同伴する未就学児を2人から3人までに拡大しました。

<運賃表>

		台場シャトルバス	
		現 行	改 定
現金（税込）	大人運賃	210 円	220 円
	小人運賃	100 円	110 円

3 運行状況について

(1) 利用者数

平成30年度の利用者数は782,449人で、平成29年度と比較して、7.1%増加しています。

	29年度	30年度	対前年比
利用者数	730,738人	782,449人	107.1%

(2) 収支率

平成30年度の収支率は86.4%で、平成29年度と比較すると10.5ポイント増加しました。

(単位：千円)

	収入			支出	収支	補助金	収支率
	運賃収入	広告収入等	計				
29年度	131,598	8,267	139,865	184,366	△44,501	44,501	75.9%
30年度	143,326	9,819	153,145	177,324	△24,179	24,179	86.4%

(3) 補助金

平成30年度の補助金は、24,179,000円でした。

<5年間の収支率と補助金>

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	合計
収支率の目標値	75.3%	83.5%	89.0%	94.8%	100.9%	
補助金 (単位：千円)	44,501	24,179	—	—	—	68,680 (残31,320)
収支率の実績	75.9%	86.4%	—	—	—	

4 今後の取組について

今後の取組として、台場地区内における運行改善策を検討するとともに、自動車車庫と営業所の移転など、令和3年度までの黒字化達成に向けて、より一層の利用促進と、経費削減に努めていきます。